

子育て文教エリアの基本計画策定に向けた今後の方向性（案）

基本計画とは？ 「カタチ」を考える前に、まずは「あり方（ソフト）」が大切

老朽化しつつある施設の現状に加え、学校の建て替えも含めた魅力ある子育て文教エリア整備に向けて、

- ・教育や保育の具体的目標や保小中一貫教育のあり方
 - ・教育以外の公的サービスと教育との関係のあり方なども含めた、ソフト面での検討と
 - ・その実現のために必要な学校施設のあり方・公共施設の連携のあり方などのハード面での検討を
- 村民参画の下一体的に行い、「村づくり」という視点で総合的に策定する計画

○検討体制

1. **子どもたち**が村の一員として参画するワークショップ開催
2. 地域で支えていくための、**学校運営協議会**や**保護者懇談会**を基盤としたワークショップ開催
3. 未来にむけた教育のあり方を見据えた、**教職員**ワークショップ開催
- (4. 村の運営の持続可能性に考慮した、老朽化した公共建築の再編の検討（庁内にて）)
5. 基本計画（案）の検討にあたっては、上記ワークショップの意見やアイデアを踏まえ、**基本計画策定委員会**（村関係者＋外部有識者）を設置して検討

（※1～5の総括アドバイザーとして、

福井大学教育学部非常勤講師、設計工房顕塾代表柳川先生に依頼予定）

○スケジュール

（令和2年12月 学校運営協議会、保護者懇談会及び講演会での御意見等を踏まえ、
村議会の行政報告で令和3年度中に基本計画を策定することを村長より表明）

～3月末

- ・民間事業者からのアイデア募集（サウンディング）
- ・**学校運営協議会**や**保護者懇談会**における**4月以降の体制整備の検討**
- ・子育て・教育ビジョン改定

4月～

- ・子どもたち参画の学校づくりワークショップ開催（3回程度）

7月～

- ・教職員を対象としたワークショップ開催（5回程度）
- ・**基本計画策定委員会の設置・検討開始**（9回程度） ※回数は柳川氏提示

令和3年度中

- ・北川村子育て文教エリア基本計画（仮称）策定



総括アドバイザー柳川氏

●子育て文教エリアの村の現状と課題

- ・村内に公園が少なく、図書館の規模が小さいなど、**村民が集い活用できる子育てや文教関係の施設が脆弱**である。
- ・保小中一体的な教育の観点からすると、現状では保小中の校舎や敷地が別であり、**15年を見通したより効率的・効果的な施設運用の視点**が必要である。
- ・文教施設において、築年数が40年を超える建築物が多くみられ、**ここ数年で築50年を超過する状況**となっていることから、「**子どもの多様な学習形態に応じた施設**」や「**防災や環境等に配慮した施設**」とは必ずしもなりえていない。
- ・**建物が老朽化しつつある**ため、今後40年間の施設の改修・補強等によるコストは約30億円、一方で施設の建て替えによるコストは約26億円と試算がでている。（R2北川村学校施設等長寿命化計画より）

●「これからの子育て文教エリアの在り方講演会」（11月23日）における講師（柳川氏・早田氏）からの提言

- ・「学校作り」は「地域作り」。人口減少の中、将来を見据えてどのような村を創り上げていくのか、**地域を巻き込んだ議論が今こそ大切**である。福井市立安居（あご）中の改築に際しては、住民や教職員、子ども達とのワークショップを行い、**学校のあり方だけでなく、将来の地域のあり方についても議論を重ねてきた**。そこに、その地域らしい、ここでしかできない答えがみえてくるはず。
- ・また、全国的に見ると、**既存の学校施設にはない「地域交流スペース」や「子育て相談機能や保育機能等との複合化」「図書機能やICT活用スペースを一元化したメディアセンター」**など、特色ある施設整備が見られるようになっている。
- ・保小中の一体的な施設は全国的にもあまり例がなく、**村の特色を活かした15年間を見通した子育て・教育は他のモデルとなりうる**。
- ・**地域に学校がなくなるとは村が衰退する**。地域の拠点として、村に活気を生み、**地域に愛される文教エリアのあり方を住民参画で前向きに検討することが将来の村作りにつながる**。そのためには、**検討結果を踏まえ設計等に生かせるよう、基本計画をしっかりと策定することが必要**。

●これまでに（保護者懇談会等）保護者や地域住民の皆様から頂いたご意見

- ・**地域との連携・協働、学校施設の地域開放を目指した施設整備**
公園、図書館、ものづくりなどの体験できる場、地域の方が集まりやすい場所、役場や福祉施設との一体化（病気や夜間の預かり保育）、既存施設は村営住宅やシェアオフィスにしてはどうか。
- ・**環境や防災に配慮した施設整備**
災害に強い施設（耐震など）、防災を含めたコミュニティーセンター機能が必要。
- ・**保小中一体的な施設整備**
一体型の施設、不登校の子どもが活動や学習できる場所があれば。
- ・一方で、**今後子どもが減少するなら規模を考える必要がある**という意見や**多額の費用をかけるのはどうか**という意見も頂いている。

●11月23日学習会時に保護者や地域住民の皆様から頂いたご意見

- ・将来的な学校作りが村作りにつながっていくと思う。**地域と一体になった素敵な施設**ができると良い。
- ・子どもが巣立ってからどの世代も集える村の拠点、シンボルになると素敵だと思いました。
- ・北川村では**保小中がつながる他にはない特色を活かしたい**。
- ・事例を紹介して頂き、北川村らしい施設を創ることができればいいなと思った。そのためには、**たくさんの住民が前向きに話し合いを深める場が大切**だと思う。
- ・学校が子ども達の創造性と課題解決力、積極性を育む場所になってくれる、**そのような学び舎が造られることを期待**している。
- ・子ども達の意見もしっかり取り入れていくことも大切である。
- ・**人数の確保をいかに果たすか行政の責任は重い**と思う。

■今後の方向性

- ・これまでに頂いた皆様の思いや願いを形にするため、単なる学校等の施設整備を含めた子育て文教エリアの整備という視点だけではなく、**将来の村作りについて、柳川氏をコーディネーターとするワークショップを適宜開催**するなどして、**みんなで村を考える機会をつくり、行政と村民が知恵を出し合う場を設け、次年度までに基本計画を策定すべく、保護者や住民の皆様等と協議を行っていき**たい。



●これまでの組織を核にして、地域でワークショップ

夜間活動

ホーム
スター
ある

お泊り会

お泊り会
お泊り会
お泊り会
お泊り会
お泊り会
お泊り会

家族の
つながり

ダンス
パーティー

*天体観測
(星の観測)

キャンプ
ファイヤー
(4x穫祭)

自然探究

みんなの
満活活動
一緒にする

自然探究
自然探究
自然探究
自然探究
自然探究
自然探究

地域の人々
素直に
自然探検
仲間



敬老

介護
講習

食文化

味を
感じる
お料理

お料理
お料理
お料理
お料理
お料理
お料理

*食文化
昔の人から
教わろう!

地域の人々
招いた
中学生の
祭り

陶芸を
する

農業 稲刈り
地域の人々
いっしょに

米づくり

稲刈り
稲刈り
稲刈り
稲刈り
稲刈り
稲刈り

*野菜づくり

野菜づくり
野菜づくり
野菜づくり
野菜づくり
野菜づくり
野菜づくり

花で模様
ある花壇
を作る

体験

安居の歴史

お年寄りの
方々の
昔話

*昔の
お話を
聞かせて
もらおう!

安居の
歴史を
学ぶ

昔の
おもちゃ
づくり

他校とのふれあい
他校の生活
教科書や
体験を
交流
他校との
ふれあい
交流



地域との交流

クラブ
いろんな
スポーツを
体験したい

地域の人々
交流
スポーツ大会

地域の人々
合唱
ブラスバンド
作る
都立
夜間

地域の人々
合唱
ブラスバンド
作る
都立
夜間

職場体験

福井の
社長の
話し

一日
校長先生

一日
保科の
先生

職場
体験

職場
体験

職場
体験

一日
JA
支店長

パティ
シエール

子どもから
教えてもらおう

進路

3班

進路
進路
進路
進路
進路
進路

地域として学校を支えられること、地域の夢から、学校を考える